

## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月9日

上場会社名 松田産業株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7456 URL <https://www.matsuda-sangyo.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 芳明  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CSR・IR部長 (氏名) 田中 善則 (TEL) 03-5381-0728  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	271,388	0.3	7,181	△37.1	7,960	△30.0	5,343	△33.0
2023年3月期第3四半期	270,528	32.9	11,416	9.1	11,374	0.9	7,976	1.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 6,870百万円(△34.2%) 2023年3月期第3四半期 10,447百万円(24.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	205.28	—
2023年3月期第3四半期	305.76	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	144,246	89,727	62.0
2023年3月期	129,208	84,648	65.4

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 89,468百万円 2023年3月期 84,481百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2024年3月期	—	30.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	360,000	2.6	10,000	△27.6	11,000	△20.5	7,600	△21.6	291.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	26,908,581株	2023年3月期	26,908,581株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	991,290株	2023年3月期	822,870株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	26,031,137株	2023年3月期3Q	26,085,787株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は緩やかな回復基調となりましたが、世界的な金融の引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念、地政学リスクなどを背景に依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループの貴金属関連事業においては、資源リサイクルの総合力及び高機能電子材料の開発などによる差別化のもとで、貴金属原料の確保、高機能電子材料などの製商品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に取り組みました。また、食品関連事業においては、グローバルに展開する調達力を活かして、顧客ニーズに応えた商品の開拓と安全安心な商品の安定提供により、販売量の拡大に取り組みました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高271,388百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益7,181百万円（前年同四半期比37.1%減）、経常利益7,960百万円（前年同四半期比30.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益5,343百万円（前年同四半期比33.0%減）となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### (貴金属関連事業)

当事業の主力顧客であるエレクトロニクス業界の電子デバイス分野は、人工知能（AI）技術などに伴う新たな需要の兆しは見られるものの、全体的な生産状況は依然として停滞が続く厳しい市場環境となりました。

このような状況の中で、当事業においては、電子デバイス分野を対象とした貴金属リサイクルの取扱量及び製商品の販売量は減少し、宝飾分野からの貴金属リサイクル取扱量増加や金相場の堅調な推移はあったものの、売上高及び営業利益は前年同四半期に比べ減少しました。

これらの結果、当該事業の売上高は186,701百万円（前年同四半期比2.4%減）、営業利益は5,319百万円（前年同四半期比43.5%減）となりました。

#### (食品関連事業)

当事業の主力顧客である食品製造業界は、需要面に顕著な変化がない中で販売価格の値上げなどにより緩やかに持ち直しの状況は見られましたが、原材料価格や物流コストは依然として高止まりの状況が続く厳しい市場環境となりました。

このような状況の中で、当事業においては、水産品の販売量は減少しましたが、畜産品、農産品の販売量は増加し、販売価格も上昇したことから、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。また、営業利益につきましては、運送費及び保管料の増加や仕入価格上昇の影響などにより、前年同四半期に比べ減少しました。

これらの結果、当該事業の売上高は84,747百万円（前年同四半期比6.7%増）、営業利益は1,861百万円（前年同四半期比7.3%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ15,038百万円増加し、144,246百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金、棚卸資産並びに有形固定資産の増加によるものです。

##### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ9,958百万円増加し、54,518百万円となりました。これは主として買掛金、短期借入金の増加と、長期借入金の減少との差引によるものです。

##### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ5,079百万円増加し、89,727百万円となりました。これは主として利益剰余金の増加によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ717百万円増加し、12,478百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動により減少した資金は2,794百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益、減価償却費並びに仕入債務の増加による資金の増加と、売上債権、棚卸資産の増加及び法人税等の支払いによる資金の減少との差引によるものです。なお、前年同四半期の4,274百万円の資金の減少に比べ1,480百万円増加しました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は5,075百万円となりました。これは主として工場設備新設等の有形固定資産の取得によるものです。なお、前年同四半期の10,357百万円の支出に比べて5,281百万円の支出減少となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動により増加した資金は7,800百万円となりました。これは主として短期借入金の増加による資金の増加と、長期借入金の返済、配当金の支払い及び自己株式の取得による資金の減少との差し引きによるものです。なお、前年同四半期の12,222百万円の資金の増加に比べ4,422百万円減少しました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、前回発表時（2023年11月10日）の業績見通しから変更はございません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,761	12,608
受取手形及び売掛金	25,615	32,859
商品及び製品	28,925	28,456
仕掛品	606	770
原材料及び貯蔵品	16,058	18,180
未収入金	2,055	1,813
その他	4,336	4,590
貸倒引当金	△32	△9
流動資産合計	89,327	99,269
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,954	14,197
減価償却累計額	△6,609	△7,050
建物及び構築物（純額）	7,345	7,147
機械装置及び運搬具	13,510	15,049
減価償却累計額	△10,394	△11,676
機械装置及び運搬具（純額）	3,116	3,373
土地	16,625	16,680
リース資産	1,815	1,793
減価償却累計額	△1,054	△1,002
リース資産（純額）	761	790
建設仮勘定	1,129	5,424
その他	1,619	1,725
減価償却累計額	△1,392	△1,470
その他（純額）	227	255
有形固定資産合計	29,205	33,670
無形固定資産		
その他	1,341	1,691
無形固定資産合計	1,341	1,691
投資その他の資産		
投資有価証券	5,825	6,539
繰延税金資産	695	240
その他	2,858	2,896
減価償却累計額	△6	△23
その他（純額）	2,851	2,872
貸倒引当金	△38	△38
投資その他の資産合計	9,334	9,614
固定資産合計	39,880	44,977
資産合計	129,208	144,246

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,874	12,268
短期借入金	2,346	14,526
1年内返済予定の長期借入金	3,102	3,002
リース債務	246	242
未払法人税等	2,584	171
賞与引当金	1,030	580
未払金	818	1,844
その他	6,890	7,373
流動負債合計	27,893	40,010
固定負債		
長期借入金	13,023	10,771
リース債務	520	562
繰延税金負債	12	170
役員退職慰労引当金	788	765
執行役員退職慰労引当金	22	22
退職給付に係る負債	2,183	2,103
その他	116	112
固定負債合計	16,667	14,508
負債合計	44,560	54,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	75,939	79,850
自己株式	△995	△1,395
株主資本合計	82,512	86,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	577	709
繰延ヘッジ損益	△91	113
為替換算調整勘定	2,235	3,125
退職給付に係る調整累計額	△751	△503
その他の包括利益累計額合計	1,969	3,444
非支配株主持分	166	259
純資産合計	84,648	89,727
負債純資産合計	129,208	144,246

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	270,528	271,388
売上原価	244,448	248,568
売上総利益	26,080	22,820
販売費及び一般管理費	14,663	15,638
営業利益	11,416	7,181
営業外収益		
受取利息	6	7
受取配当金	30	30
投資有価証券売却益	40	19
持分法による投資利益	345	609
仕入割引	11	9
受取保険金	5	11
為替差益	—	171
その他	65	121
営業外収益合計	505	979
営業外費用		
支払利息	145	129
為替差損	353	—
その他	48	71
営業外費用合計	547	200
経常利益	11,374	7,960
特別利益		
関係会社清算益	88	—
固定資産売却益	40	—
特別利益合計	129	—
税金等調整前四半期純利益	11,503	7,960
法人税、住民税及び事業税	3,393	2,233
法人税等調整額	105	352
法人税等合計	3,498	2,586
四半期純利益	8,005	5,374
非支配株主に帰属する四半期純利益	29	30
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,976	5,343



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	8,005	5,374
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	132
繰延ヘッジ損益	882	212
為替換算調整勘定	1,274	836
退職給付に係る調整額	226	248
持分法適用会社に対する持分相当額	92	66
その他の包括利益合計	2,442	1,495
四半期包括利益	10,447	6,870
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,398	6,819
非支配株主に係る四半期包括利益	49	50

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,503	7,960
減価償却費	1,694	1,792
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△41	△22
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△477	△450
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	217	277
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	34	△22
執行役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△5	△0
受取利息及び受取配当金	△37	△37
支払利息	145	129
持分法による投資損益 (△は益)	△345	△609
売上債権の増減額 (△は増加)	△8,613	△7,091
未収入金の増減額 (△は増加)	△101	249
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△4,506	△1,532
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,408	1,231
未払金の増減額 (△は減少)	△385	△102
その他	96	△89
小計	585	1,682
利息及び配当金の受取額	201	162
利息の支払額	△137	△121
法人税等の支払額	△4,923	△4,517
営業活動によるキャッシュ・フロー	△4,274	△2,794
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△9,567	△4,240
有形固定資産の売却による収入	115	0
無形固定資産の取得による支出	△513	△719
投資有価証券の取得による支出	△14	△12
投資有価証券の売却による収入	57	58
その他	△434	△161
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,357	△5,075
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,670	12,147
長期借入れによる収入	13,500	—
長期借入金の返済による支出	△2,451	△2,351
配当金の支払額	△1,278	△1,432
自己株式の取得による支出	△0	△400
その他	△217	△162
財務活動によるキャッシュ・フロー	12,222	7,800
現金及び現金同等物に係る換算差額	863	786
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,545	717
現金及び現金同等物の期首残高	11,379	11,761
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,833	12,478

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	191,198	79,329	270,528	—	270,528
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	61	61	△61	—
計	191,198	79,391	270,590	△61	270,528
セグメント利益	9,407	2,009	11,416	—	11,416

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	186,701	84,687	271,388	—	271,388
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	59	59	△59	—
計	186,701	84,747	271,448	△59	271,388
セグメント利益	5,319	1,861	7,181	—	7,181

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。